

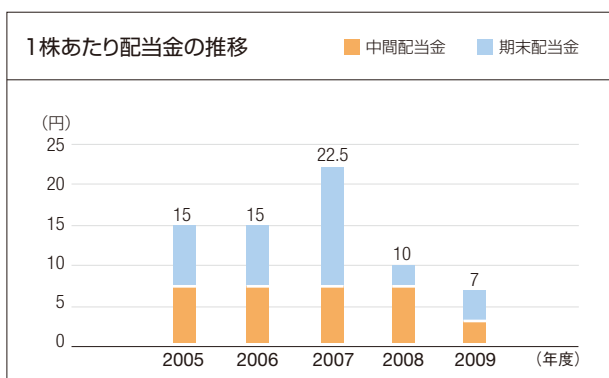
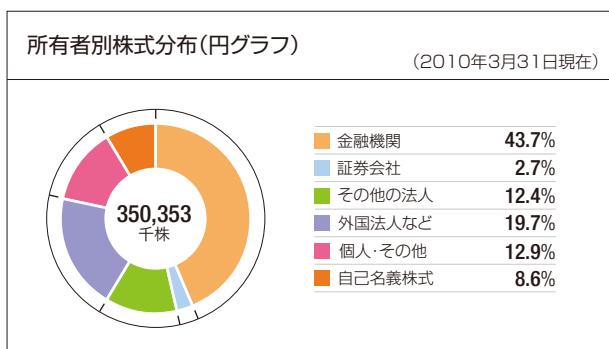


## 株主・投資家とシチズン

シチズンホールディングスでは、株主・投資家の皆様との日々の対話が企業価値にふさわしい株価形成につながると考え、株主・投資家の意思決定に必要な信頼性の高い情報を適時・適切に開示するよう努めています。IR活動では、株主・投資家とのコミュニケーションの機会を増やすとともに、その内容の充実にも積極的に取り組んでいます。

### 利益還元方針

シチズンホールディングスは、配当および自己株式取得の合計額の、連結当期純利益に対する比率を「株主還元性向」ととらえております。この方針を定めた2005年度以降、3年～5年の期間で比率を平均30%以上とすることをめざしています。配当につきましては、連結業績との連動と安定配当のバランスを勘案し決定しています。



### 開かれた株主総会

シチズンホールディングスは、より多くの株主の皆様定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数や交通アクセスに配慮して会場を決定しています。

また、2007年の総会からは、議決権を行使しやすいよう、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利用を可能にするなど、意見や質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営を心がけています。

### インサイダー取引の防止

シチズングループは、インサイダー取引を未然に防ぐための規則の制定・変更などの必要な手続きを随時実施しています。シチズンホールディングスと国内連結子会社各社では、各社役員と重要事実を扱う可能性が高い社員による売買を許可制としています。また、社内での講習会やe-ラーニングなどで役職員の理解を深め、実効性の確保に努めています。

#### 外部機関からの評価

シチズンホールディングスは、2004年から6年連続で、ベルギーのSRI(社会的責任投資)評価機関であるエティベル社の「エティベル・サステナビリティー・インデックス」に選ばれています。

